令和7年度 「特色あるPTA活動プロジェクト」事業 募集要項

本事業は、令和6年度まで実施していた「研究PTA」に替わる事業として、新年度より開始する事業です。

＜事業の変更の経緯＞

研究PTAは、1966（昭和41）年より「実験PTA」として始まり、1979（昭和54）年より「研究PTA」と改称して現在に至っています。

これまでに県内小中学校のべ180校以上に「研究PTA」を委嘱し、2か年継続の研究をとおして多大なる成果を残してきました。また、PTAの果たす役割は、学校と地域の架け橋であるとの基本理念を踏まえて学校教育の効率を図るために、PTAと地域が連携して学校を支援する態勢づくりに努めてまいりました。

研究の推進にあたっては、開始当初は県内全地区に研究を委嘱し、2年間の研究を実施いただいておりますが、研究に対する負担等を考え、平成18年度からは4地区ずつ、平成21年度からは2地区ずつ、平成29年度からは1地区ずつの委嘱と変更してきた経緯があります。

また、近年になり、PTAに対する考え方が多様化し、持続可能で魅力あるPTA活動の推進が必要でありますことから、主体的に各单位PTAが実践する「特色ある活動」に活動費を補助する形に変更することにいたしました。

栃木県PTA連合会

1 本事業の目的

各単位PTA等が実践する「特色ある活動」に活動費を補助し、持続可能で魅力あるPTA活動を推進していただくとともに、そうした活動・成果を会員に伝達・周知を図ることを通して、PTA活動の活性化等を図る。

2 補助の対象となる事業

以下の募集テーマに沿った事業

- ①組織運営・②家庭教育・③地域連携・④健康・食育・
- ⑤安全安心・⑥人権教育・⑦広報活動・⑧情報モラル・⑨その他

※別紙例を参照

3 対象

各単位PTA、各市町PTA連合会/協議会/連絡協議会 等

4 補助額

1団体10万円/年（2年間まで継続可能）

5 補助の対象となる経費

事業の実施に直接必要となる経費であり、表1に掲げるものとする。

◎表1：対象経費

科目	内容
報償費	講師、補助事業の協力者等への報償及び謝礼、景品・啓発品等（団体の構成員に対するもの、商品券など換金性の高いものの購入に要する経費は除く）
旅費・交通費	（1）講師、協力者等が要した交通費、宿泊費等の実費相当額 （2）先進地への事例調査に係る交通費（宿泊を伴わないで実施される調査に限る）
消耗品費	消耗品の購入に要した費用
食材料費	食材等及び飲食物の購入に要した費用 （会議の際の弁当代、懇親経費等は除く）
印刷製本費	事業実施のPR等に必要パンフレット、ポスター等の作成費及び印刷費
使用料及び賃借料	（1）利用する施設の使用料、バス等の借上料 （2）使用する機器類のリース料
通信運搬費	通知、資材等の送付に要する費用
保険料	イベント保険料等（火災、地震等の家屋に係るものは除く）
備品購入費	長期間繰り返し使用可能なものの購入に要する費用。ただし、補助対象経費は備品購入費を除く経費合計額の20%以内（千円未満切捨て）
その他	その他事業に必要な経費で、本会会長が必要かつ適切であると認めるもの

◎対象経費とならないもの

- （1）商品券など換金性の高いものの購入に要する経費
- （2）事業の実施に直接関係のない経費

6 応募方法

申請に必要な書類一式をそろえ、次の募集期間中に下記提出場所へ提出する。

募集期間	令和7年2月末まで
提出場所	栃木県PTA連合会事務局 メールでの提出
提出書類	(1) 補助金申請書(様式第1号) (2) 事業計画書(様式第2号) (3) 事業予算書(様式第3号) (4) その他事業実施等の説明において必要な書類(必要に応じて) ※その他必要と認める書類の提出を求めることがある。

※提出書類は返却しない。(必要な場合はコピーをとってから提出すること。)

※提出書類(1)・(2)・(3)の様式は、添付の物を使用すること。

・記載漏れのないよう注意する。

7 選考方法及び決定

本会の正副会長会において、提出書類により審査をし、予算の範囲内で適当である事業を決定する。

8 審査の視点

次の審査基準に基づき審査し決定する。

項目	説明
先駆性	特色のある取組か、新たな視点・発想から提案されたものか。
効果・成果	事業の目的に沿った活動であり、貴会員にとって満足しうる活動か。
継続性	実行可能な方法・スケジュールで事業計画が立案されているか。
発展性	貴団体の発展や持続可能な運営等を意識したものになっているか。
費用の適正性	活動の内容・規模に見合った予算見積となっているか。
公益性	事業の成果は他PTA会員の参考となるものか。

9 選考結果の通知・補助金交付の決定

(1) 選考結果等の通知

選考結果を全ての応募団体に通知する。選定された団体には、補助金請求書(様式第4号)送付する。

(2) 補助金の交付申請

選定された団体は、指定された日までに、補助金請求書(様式第4号)を提出すること。

(3) 補助金の送金

指定の口座に補助金を送金する。

2年間の取組の場合には、単年度ごとに補助金を送金する。

10 事業の実施

補助金交付決定団体は、事業の実施に当たり、下記の項目を遵守すること。

(1) 関係書類の整理・保管

補助事業に係る収入・支出を明らかにした帳簿やその証拠書類（領収書など）は、適切に整理しておくこと。また、その帳簿・証拠書類は、補助金の交付に係る会計年度終了後5年間保管すること。

(2) 補助事業の変更、中止、廃止

補助金の交付決定後に、補助事業の変更、中止となる場合は、本会事務局に知らせること。

11 事業実施後の手続き等

事業終了後、年度末（3月31日）までに、次の3点を提出する。

① 事業報告書（様式第5号）

② 収支決算書（様式第6号）（領収書等またはその写しを添付）

※領収書のコピーを提出する場合には、すべての領収書の支払先名、日付、支払金額、内訳等がはっきり確認できるように印刷すること。

③ 実績報告書（様式第7号）（記録写真等を含めA4版2枚程度にまとめたもの）
パンフレット、新聞記事等があれば添えて提出すること。

12 実績報告等

実践の結果については、本会の会員への伝達・周知を以下の形で行う場合もあるので、資料等は適切に保存しておくこと。

① 栃木県PTA連合会のホームページ、PTA新聞を活用

② 総会・理事会等での紹介（発表）

③ 関東ブロックPTA協議会研究大会での発表（取組者または代表者による発表）

13 その他

募集要項に定めるもののほか、必要な事項については、正副会長会において、協議のうえ定める。

【参考】申請書類様式等

様式第1号 補助金申請書 及び（記入上の注意）

様式第2号 事業計画書 及び（記入上の注意）

様式第3号 事業予算書 及び（記入上の注意）

様式第4号 補助金請求書 及び（記入上の注意）

様式第5号 事業報告書 及び（記入上の注意）

様式第6号 収支決算書 及び（記入上の注意）

様式第7号 実績報告書 及び（記入上の注意）

特色PTA活動プロジェクト例

特色あるPTA活動プロジェクト補助金申請書

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)
代表者職氏名 _____

「特色あるPTA活動プロジェクト」補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

【事業の内容】

事業名	
団体の所在地（住所）	〒
連絡先	電話番号：
	FAX 番号：
	E-mailアドレス：
応募区分 （該当する募集テーマ に☑を入れてください）	☐ ①組織運営・ ☐ ②家庭教育・ ☐ ③地域連携・ ☐ ④健康・食育・ ☐ ⑤安全安心・ ☐ ⑥人権教育・ ☐ ⑦広報活動・ ☐ ⑧情報モラル・ ☐ ⑨その他（ ）
取組期間	☐ 1年間 ☐ 2年間 （どちらかに☑してください）
事業の目的 （実施する理由・必要性 などをご記入ください。）	
事業の内容 （実施期日・効果を含 め、具体的にご記入くだ さい）	

特色あるPTA活動プロジェクト補助金申請書

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)

代表者職氏名 会長：〇 〇 〇 〇 _____

「特色あるPTA活動プロジェクト」補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

【事業の内容】

事業名	
団体の所在地（住所）	〒 学校の住所等
連絡先	電話番号：
	FAX 番号：
	E-mailアドレス：
応募区分 （該当する募集テーマ に☑を入れてください）	☐ ①組織運営・ ☐ ②家庭教育・ ☐ ③地域連携・ ☐ ④健康・食育・ ☐ ⑤安全安心・ ☐ ⑥人権教育・ ☐ ⑦広報活動・ ☐ ⑧情報モラル・ ☐ ⑨その他（ ）
取組期間	☐ 1年間 ☐ 2年間 （どちらかに☑してください）
事業の目的 （実施する理由・必要性 などをご記入ください。）	通常の活動ではなく、補助申請をする事業（活動）について記入してください。 事業の目的、必要性を簡潔に記入してください。
事業の内容 （実施期日・効果を含 め、具体的にご記入ください）	実施期日・事業の内容・特色・持続性・実施による効果などを簡潔にまとめ、 具体的に記入してください。

学校また代表者の方の連絡先をご記入ください。
（学校 or 代表者）を記してください。

その他の場合は
簡潔に内容を記
入ください。

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業計画書

事業名 _____

<p>事業計画</p> <p>(取組期間のスケジュールをご記入ください)</p>	
--	--

【その他】

<p>これまでの活動実績</p>	
<p>その他 (アピールポイント等 をご記入ください)</p>	

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業計画書

事業名

様式第1号の「事業名」と統一してください。

<p>事業計画 (取組期間のスケジュールをご記入ください)</p>	<p>事業実施に係る活動の予定を具体的に記入してください。 (企画会議、準備、実施、報告書作成等) (例) 5月：企画検討会議① 6月：企画検討会議② 7月：チラシ作成配布 9月：会場装飾物の作成 10月：事業実施 12月：報告書作成</p> <p>2年間かけての事業の場合は、その期間の計画を記入ください。</p>
---------------------------------------	--

【その他】

<p>これまでの活動実績</p>	<p>本事業の内容ではなく、団体のこれまでの取組内容で特筆するものがあればご記入ください。</p>
<p>その他 (アピールポイント等をご記入ください)</p>	<p>本事業を実施するにあたり、補助金が必要な理由や実施することのメリットなどアピール等をご記入ください。</p>

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業予算書

事業名 _____

【収入の部】

単位：円

項目	金額	摘要
特色あるPTA活動 プロジェクト補助金		
合計		

【支出の部】

単位：円

項目	金額	補助対象経費	摘要
報償費			
旅費・交通費			
消耗品費			
食材料費			
印刷製本費			
使用料及び賃借料			
通信運搬費			
保険料			
備品購入費			
その他			
合計			

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業予算書

様式第1号の「事業名」と統一してください。

事業名 _____

【収入の部】

単位：円

項目	金額	摘要
特色あるPTA活動 プロジェクト補助金		取組期間が1年の場合は100,000円 2年の場合は200,000円と記入してください。
		事業の実施にあたりこの 補助金以外の収入があれば 記入してください。
合計		具体的に何に要する 経費かご記入く ださい。

【支出の部】

項目	金額	補助対象経費	摘要
報償費			
旅費・交通費			
消耗品費			
食材料費			募集要項の補助 の対象となる経費 をよく確認の上、記 入してください。
印刷製本費			
使用料及び賃借料			
通信運搬費			
保険料			
備品購入費			
その他			
合計			

収入の部の合計と一致
させてください。補助金の額と一致させてください。
100,000円 または 200,000円

【様式第4号】

特色あるPTA活動プロジェクト補助金交付請求書

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)

代表者職氏名 _____

「特色あるPTA活動プロジェクト」補助金の交付を受けたいので、次のとおり請求します。

補助金交付額	円
--------	---

【送金先】

金融機関名	支店・支所
口座の種類	☐ 当座 ☐ 普通預金 (いずれかを ☒ してください)
口座番号	
(ふりがな) 口座名義人	

特色あるPTA活動プロジェクト補助金交付請求書

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)

代表者職氏名 _____

「特色あるPTA活動プロジェクト」補助金の交付を受けたいので、次のとおり請求します。

取組期間に関わらず1年ごとの交付となる
ので100,000円 と記入ください。

補助金交付額	円
--------	---

【送金先】

補助金を振り込みますので、間違いの
ないようによくご確認ください。

金融機関名	支店・支所
口座の種類	☐ 当座 ☐ 普通預金 (いずれかを☑してください)
口座番号	
(ふりがな) 口座名義人	

団体名、または、代表者名義と
してください。

取組期間が2年間の場合は、2年目にあらためて請求書を提出いただきます。

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)
代表者職氏名 _____

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業報告書

補助事業が完了したので、次のとおり報告いたします。

事業名	
補助金の額	円
実施場所	
実施時期	
参加者数	
事業結果の概要	

令和 年 月 日

栃木県PTA連合会 会長 様

団体名 _____

(ふりがな)
代表者職氏名 _____

事業終了後、実施年度末までに提出してください。

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業報告書

補助事業が完了したので、次のとおり報告いたします。

事業名	様式第1号の「事業名」と統一してください。
補助金の額	取組期間が1年の場合は100,000円 2年の場合は200,000円と記入してください。
実施場所	
実施時期	事業の実施日を記入してください。
参加者数	スタッフ（役員等）を含め事業に参加した 全体の人数を記入してください。
事業結果の概要	実施した事業内容及びその成果を簡潔に 記入してください。 詳細は、実績報告書（様式第7号）により 提出してください。 ※なお、実績報告の場を設定しますので、 記録資料等は適切に保存しておいてくだ さい。

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業収支決算書

事業名 _____

【決算額】

収入額	支出額	差引残高
円	円	円

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
特色あるPTA活動 プロジェクト補助金				
合計				

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
報償費				
旅費・交通費				
消耗品費				
食材料費				
印刷製本費				
使用料及び賃借料				
通信運搬費				
保険料				
備品購入費				
その他				
合計				

特色あるPTA活動プロジェクト補助事業収支決算書

事業名

様式第1号の「事業名」と統一してください。

特色あるPTA活動プロジェクト補助金に係る経費のみの収支決算となります。

1年の場合は100,000円
2年の場合は200,000円
分の決算です。

【決算額】

収入額	支出額	差引残高
円	円	円

差引残高が
0になるよう
支出ください。

【収入の部】

特色あるPTA活動プロジェクト補助金の
予算額・決定額は取組期間が1年の場合は100,000円
2年の場合は200,000円と記入してください。

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
特色あるPTA活動 プロジェクト補助金				
合計				

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
報償費				
旅費・交通費				
消耗品費				
食材料費				
印刷製本費				
使用料及び賃借料				
通信運搬費				
保険料				
備品購入費				
その他				
合計				

決算額から予算
額を引いたもの。
マイナスの場合
は、数字の先頭に
△印を付してく
ださい。予算額と
決算額に増
減が発生す
る場合は、
摘要欄に変
更内容を記
入してくだ
さい。

※ 領収書等またはその写しを添付してください。

実績報告書

団体名	
代表者名	

1 事業名

2 目的

3 内容

4 まとめ（成果と課題）

実績報告書

団体名	
代表者名	

1 事業名

様式第1号の「事業名」と統一してください。

2 目的

3 内容

記録写真等を含めA4版2枚程度になるようまとめる。

1事業名 2目的 3内容 4まとめ（成果と課題）が含まれていれば、形式は問いません。

4 まとめ（成果と課題）

また、事業実施にあたり配布したパンフレットや、新聞記事等があれば添えて提出ください。

実践の結果については、本会の会員への伝達・周知を以下の形で行う場合もあるので、資料等は適切に保存しておいてください。

- ① 栃木県PTA連合会のホームページ、PTA新聞を活用
- ② 総会・理事会等での紹介（発表）
- ③ 関東ブロックPTA協議会研究大会での発表（取組者または代表者による発表）

特色あるPTA活動プロジェクト（例）

募集テーマ ①組織運営・②家庭教育・③地域連携・④健康・食育・
⑤安全安心・⑥人権教育・⑦広報活動・⑧情報モラル・⑨その他

例1 関小朝ごはんプロジェクト

那須塩原市立関谷小学校PTA（現那須塩原市立籌根学園）

【④健康・食育】

朝食を摂らずに登校する子供たちがおり、その改善に向けて令和2年度に始まった取組。週に一度、子供たちに対しPTA（お父さん達）が主催して朝ごはんを提供しており、現在小学校3つと中学校1つが統合されてきた籌根学園にも継承されています。

プロジェクトをとおして地域や保護者との結びつきが強くなり、食材を寄付してくれる方や手伝いに来てくれる方が次々と増えました。アンケートでは朝ごはんプロジェクトを続けて欲しいと願う子どもたちは9割を超え、保護者からも感謝の声が数多く届きました。（研究PTA紀要より抜粋）

例2 「スリラーナイト2024 ～公民館がお化け屋敷になっちゃった～」について

栃木市立小野寺小学校PTA（岩舟ブロック4小中学校）

【③地域連携】

令和6年10月13日（日）、岩舟公民館において、岩舟地域の小中学校4校のPTA会員および地域ボランティア「アシストネット」などが協力して合同でお化け屋敷イベントを開催しました。

本イベントは、岩舟ブロック内4つの小中学校PTA会長が栃木市PTA連合会での総会での意見交換で、学校行事だけでなく地域の行事等、様々な活動が増えていく中で「岩舟地域の子どもたちの為に協力して何かできないか」と話が出たことがきっかけ。初開催で参加者が集まるのか不安もありましたが、多くの子どもから大人まで多世代にわたり参加していただきました。

今回のスリラーナイトを通じて、地域の「大人同士のつながり」、「大人と子どものつながり」を醸成し、体験活動の機会を提供できたのではないかと思います。地域交流イベントとして、今後も取り組んでいきたいと思っております。（PTA新聞209号掲載予定の原稿より抜粋）

例3 学校と家庭におけるICT機器の効果的な活用に向けて

～ICT機器の利用と基本的な生活習慣の確立～ 那珂川町立馬頭中学校PTA 【②家庭教育・⑧情報モラル】

本校では国のGIGAスクール構想の一環として、令和3年4月から生徒一人に一台のタブレット端末が貸与されました。この端末の効果的な利用方法を探ることが学校における課題の一つであります。

一方、家庭においてはゲーム機器、スマートフォンやタブレット、PCの利用により、基本的な生活習慣が乱れたり、SNSの不適切な利用により人間関係が崩れたりして、生活上好ましくない課題があります。そこで、学校と家庭が一体となってICT機器の効果的な活用の方法と基本的な生活習慣の確立の両立をねらい、子供たちの望ましい生活習慣の確立に向けて研究を進めてきました。（研究紀要より抜粋）

例4 子どもたちの笑顔のために

那須塩原市立豊浦小学校PTA

【⑨その他】

昨年、豊浦小学校では新型コロナウイルスがいつ収束するか分からない中で子どもたちが楽しく学校へ行くにはどのような事が出来るかPTAで話し合いました。色々な案が出た中で、子どもたちが好きな戦隊ヒーロー（わんぱく戦隊なしおレンジャー）になることにしました。準備して始業式に子どもたちの前に立ち、大きな声であいさつしハイタッチ。子どもたちの笑顔を見て私もほっこりしたのを覚えています。また、下野新聞の取材も受け他校のPTA会長さんにもお褒めの言葉を頂きました。今年は夏休み明けに「なしおレンジャー」と「みるひい（那須塩原市マスコットキャラクター）」でバージョンアップして子どもたちを笑顔にしました。小さなことで子どもたちが楽しく学校へ来られるようなPTA活動を今後もして行きたいと思っております。（PTA新聞206号より）